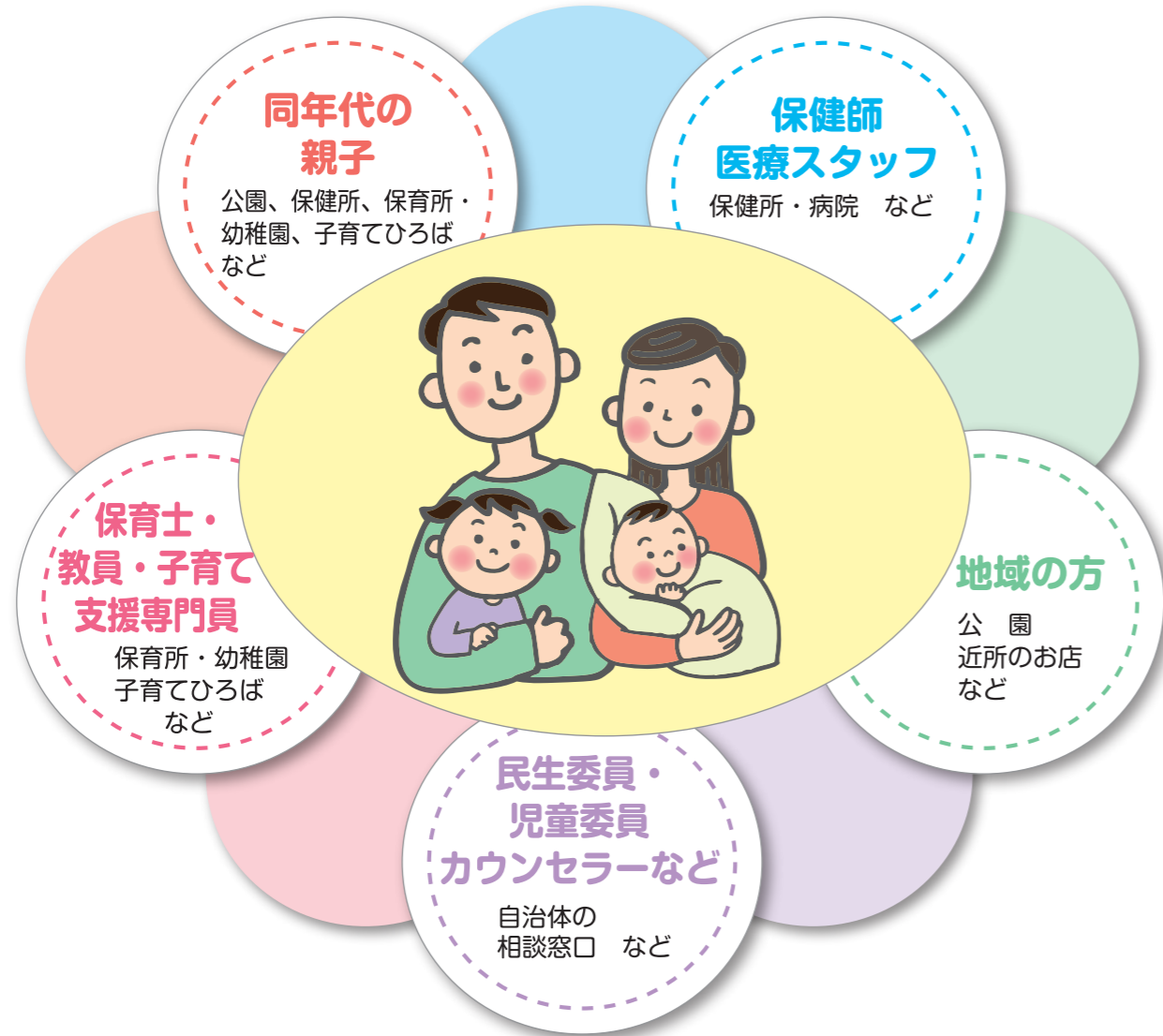


つながって子育て

子育て中のあなたの周りには、たくさんの仲間や応援団がいます。
気軽に相談しながら、周囲の方の力も借りて、子育てをしていけるといいですね。



心の東京革命

大人が変われば、子供が変わる
子供が変われば、未来が変わる

次代を担う子供に対し、親と大人が責任をもって正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で当然の心得を伝えていく取組です。

心の東京ルール

- 毎日きちんとあいさつさせよう
- 他人の子供でも叱ろう
- 子供に手伝いをさせよう
- ねだる子供にがまんをさせよう
- 先人や目上の人を敬う心を育てよう
- 体験の中で子供をきたえよう
- 子供にその日のことを話させよう



2020年 東京オリンピック・パラリンピック
お子さんは何歳になりますか？

1964年の東京大会、柔道の無差別級決勝で、オランダのアントン・ヘーシンクが日本の神永昭夫に、抑え込みで勝ちました。このとき、喜びのあまり畳の上で上がろうとしたオランダの関係者を、ヘーシンクは直ちに制しました。礼を重んじ、相手を敬うという、武道の心を示した行動でした。

オリンピックでのアスリートの姿から、

- ルールを守るフェアプレー
- 精一杯自分の力を発揮すること
- 互いに尊敬すること

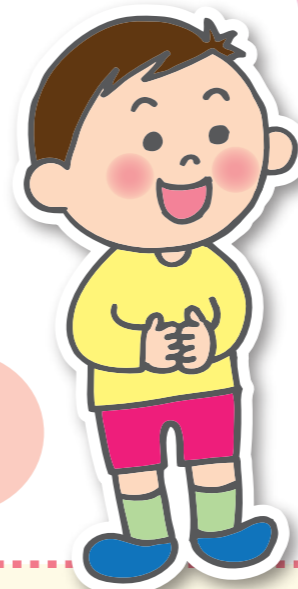
など、子供たちは多くのことを学び、心に刻むことでしょう。



小さな子供を育てていらっしゃる保護者のみなさんへ

きまわりをまもる こころを育てる

～子供たちの規範意識を育むために～



- 規範意識とは、
「法令などの社会のルールの大切さを理解し、それらを守ろうとする意識」です。
- 大切なのは分かるけれど…
「大きくなってから、身に付いていくものなのでは？」
「決まりを守らせるには、いつも厳しくしなくてはいけない？」
- いえいえ、難しいことでも、厳しいだけのことでもありません。
小さな子供の規範意識の「芽」🌱は、
毎日の何気ない生活の中にたくさんあります。
- 規範意識の🌱を育むために、大人はどのように関わるとよいのでしょうか。
このリーフレットでは、保育所や幼稚園での**保育のコツ**を交えて、お知らせします。

東京都教育委員会

「規範意識」の芽は このように育ちます

子供は、身近な大人に教えられたり、友達と遊ぶ中でけんかや仲直りなどを経験したりしながら、少しずつルールやマナーを身に付けていきます。発達に合わせて、上手に関わっていきましょう。



小学校入学



誕生

毎日の生活の中で

徐々に外の世界と関わる中で

同年代の友達と、一緒に遊んだり生活したりする中で



お父さん
お母さん※
大好き

お父さん
みたいにな
りたいな

お母さんが
言っているから、
きっとそうだ

いやだ！
自分のやり方が
いい！

ちゃんと
やったほうが
楽しいよ

心の
つながりを
育てる

手本を示す

教える
褒める

体験を通して
学ばせる

よい行動を教える
ことは、子供への
大切な贈り物です。

※「お父さん」「お母さん」は、父母
その他の保護者を表しています。

● 話しかけたりスキンシップを楽しんだりしながら、身近な大人との心のつながりを育てましょう。

● 子供は、信頼する大人の口調やしぐさをそっくりまねします。大人自身のふるまいを見直すチャンスでもあります。

● 大きな事故につながる危険な行為や、人を傷付ける言葉や行動など、いけないことは、本気で叱りましょう。
● 挨拶や我慢、その場に応じたふるまいなど、よい行動ができたときにしっかりと褒めましょう。
● 子供は失敗を繰り返しながら、ルールやマナーなどを学びます。失敗を前向きに受け止めて、体験から学ぶ姿勢を大切にしましょう。

こんなとき、
どうしたらいい？



「いやだ」「しぶんでやる！」
と言っは、できずにくずり
ます。車が来ているのに、構
わずに走り出すこともあります。
毎日毎日、疲れます…。

やってみよう！
プロの技

「おてて電車、トンネルくぐりまあす」
～その気にさせる～

袖にうまく手が通せずにくずっているときには、このひと言。手を取って、「袖トンネル」の途中までさりげなく入れてあげましょう。

「忍法、壁の術！」
～安全な行動を楽しく教える～

狭い道で車が来たときには、この言葉とともに、**子供と一緒にピタッと壁にくっつきます。**

子供は楽しいことが大好き。大人も面白がって一緒にすることが、その気にさせる秘けつです。自分でできた喜びや自信が、子供の規範意識を支えます。

「魔法のメガネで、見てみようっと」
～よさを見つけて、褒める～

手で丸を作った「魔法のメガネ」を使って、子供の**よいところや頑張っていることを、たくさん見つけましょう。**褒められたら、誰でもやる気になりますね。

「あ、ちょうちょ！」
～気分を変える～

子供は目の前のことで頭も心もいっぱい、切り替えが難しいものです。そんなときは、大人が**楽しそうに**、「あ、○○！」と気をそらしてみましよう。大きくなってきたら、「○○ちゃんはこうしたいのね。」と**気持ちを受け止める**、「お母さんは、△△してくれとうれしいな。」と**大人の意見を伝える**などのことも大切です。

子育ては、思うようにならないことがたくさんあります。でも、大丈夫。みんなが通る道です。子供の「いやだ！」「自分で！」も、成長の姿の一つです。子供と一緒に喜んだり迷ったりしながら、自分らしい子育ての仕方を見つけてみましょう。

「さすが○○！」
～誇らしさを上手にくすぐる～

「さすが○○」には、子供の名前でも、「年長さん」でも。誇らしさを上手にくすぐって、**自立に向けて応援**しましょう。

